

No33 と き め き

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分で発行しています

発行：社会福祉法人 上山市社会福祉協議会
市民福祉活動支援センター“ふれあい”
住所：上山市南町4番5-12号
電話：023-695-5095 Fax: 023-695-5096
E-mail：ka-syakyo@ic-net.or.jp
HPアドレス <http://care-net.biz/06/kaminoyama/>

サロン活動サポーター養成講座“スキルアップ編”

～市内の“ふれあいいいききサロン”サポーターの研修の場づくり～

高齢者等が気軽に集まる地域の居場所づくりの場として、市内では“ふれあいいいききサロン”が増加していますが、その運営状況はサロンによって異なっています。そのため、他のサロンとの情報交換等を行うことで、サロンの内容の充実とマンネリ化を防止し、今後の運営に活かしていただくことを目的にサロン活動サポーター養成講座スキルアップ編が2月17日（金）と24日（金）の2日間、市民福祉活動支援センター“ふれあい”を会場に開催されました。

参加者は、サロン活動サポーター養成講座（基礎編）を既に受講された方や市内サロンを実践している方、これから新たにサロンを立ち上げようとしている方、運営に協力しようとしている方など、延べ人数にして103人が実技とグループワークで、自己研鑽を図りました。



みんなでグーパー体操



グループでの情報交換会



グループ発表

17日は、「サロンで役立つ軽体操とレクリエーション」と題し、介護予防普及啓発推進員の遠藤鮎実氏より実技の指導を受けました。日頃のサロン活動で、サポーターとしてレクリエーション等を実践・担当している方にとって、新たなレパトリーの習得になりました。また、24日は、「より楽しくサロンを運営するために」というテーマで、小グループに分かれて各サロンの情報交換会を行いました。市内では34のサロンが設置されていますが、他のサロンの状況や運営の工夫、問題点などが出され、これからのサロンの運営に参考になった点が多くありました。

社会福祉協議会として引き続き、市内のサロンの支援を実施いたしますので、お気軽に連絡ください。

◆レクリエーションの主な内容◆

手(指)の体操	ジャンケン 体操 指の計算など
肩と首の体操	肩上げと首回し
足首の運動	つま先・かかとの上下 足首回し
ラップ芯と新聞紙	体をたたいたり、上下運動
新聞紙ボール	新聞紙を丸めキャッチボール
みんなで体操	花の山形! しゃんしゃん体操

=参加者からの感想=

- ☆軽体操やレクリエーションを教えていただき、とても参考になりました。今度のサロンで実践したいと思います。
- ☆各サロンの状況が聞けたり、情報交換ができたことで有意義な講座になりました。ありがとうございました。
- ☆問題点を出し合ったことで、私たちと同じ悩みを持つサロンが多くあることを知りました。

災害に備えるボランティア講座 ～災害ボランティアの心構えと対応を学ぶ～

東日本大震災で、ボランティアの活動が大きな力となって注目される中、市民の皆さんからも被災地でのボランティア活動を実践していただくとともに、災害ボランティアとして活躍するための基礎的な知識等を学ぶことを目的に実施しました。講座では災害ボランティア育成編と実技編、さらに被災地の宮城県塩釜市桂島(離島)で災害ボランティア活動を行い、延べ65名が参加しました。

育成編では、「災害ボランティアとは何か」と題し、NPO法人ディー・コレクティブ代表の千川原公彦氏より災害ボランティアとしての基礎的な知識や心構え、災害ボランティアのあり方などについて講義をいただきました。

実技編では上山市総合防災訓練の中でボランティアセンター立ち上げの訓練を実施し、市民の皆さんに災害ボランティアやセンターの設置を周知することができ、大変効果的な講座となりました。

桂島での実践活動では、復旧が遅れている離島の現況を理解し、講座で身につけたノウハウを活かして、港のゴミ拾いや土のう積みなどを行いました。

◇育成編◇ 場所:平成23年10月8日(土)実施 場所:市民福祉活動支援センター「ふれあい」



「災害ボランティア」について千川原氏より講義を受けました



参加者の年代層は幅広く、皆さん真剣に学んでいました



グループに分かれて、災害ボランティアについて話し合いしました

◇実技編◇ 場所:平成23年10月16日(日)実施 場所:上山市立宮生小学校



体育館内に災害ボランティアセンターを立ち上げました



災害ボランティアの各班での役割や必要な物品を確認しました



現在の被災地の状況を報告いただきました

◇実践活動◇ 場所:平成23年10月22日(土)実施 場所:桂島(宮城県塩釜市蒲戸諸島)



大雨の中、棧橋付近の清掃活動を行いました(午前中)



島は震災後、手つかずで、軽トラック1台分のゴミが集まりました



崖くずれの危険がある民家に、土のうを作って設置しました(午後)

◆ 上山市ボランティア連絡会議が開催されました ◆

2月15日(水)カミン会議室にて上山市ボランティア連絡会議が開催されました。現在ボランティア活動に取り組んでいる方、福祉施設ボランティア担当者、上山明新館高校JRC委員会の皆さんなど、約50名が参加されました。内容は、上山明新館高校JRC委員の体験発表、市内で活躍されているボランティアの発表、さらにNPO法人国際ボランティアセンター山形の事務局長・安達三千代氏より、「災害ボランティア活動の中から見えてきたもの」と題して講演をいただきました。

安達氏からは、震災直後から被災地に入り、物資の調達等様々な支援活動に取り組んだこと、そして「キャッシュ・フォー・ワーク」という手法を用いて、被災者を復興事業に雇用し、賃金を支払い、被災地の経済復興と被災者の自立支援につながる活動をしていること等をお話いただきました。

参加者の中には災害ボランティアとして活動された方もたくさんいらして、皆さん一生懸命に聞き入っていました。今回の講演や活動発表が皆さんの新たな活動につながればと考えています。



震災について語る安達氏

ボランティアしてみませんか？



養護老人ホーム
蔵王長寿園(金谷)
☆入浴後の髪乾かしや湯茶サービス 他
担当：山川・清水
Tel 672-0561

特別養護老人ホーム
蓬仙園(高野)
☆洗濯場のお手伝い 他
担当：神保
Tel 679-2366

特別養護老人ホーム
みずほの里(牧野)
☆エコ布きりや洗濯物たたみ 他
担当：粟野
Tel 674-3388

介護老人保健施設
みゆきの丘(弁天)
☆芸能披露・手芸の指導とお話し相手
担当：青木
Tel 672-8585

知的障害者更生施設
山形育成園(金谷)
☆日曜日の余暇活動の手伝い(カラオケ等)
担当：富樫
Tel 673-2575

知的障害者通所授産施設
上山いずみの家(東町)
☆絵画の指導やスポーツの指導等
担当：前田
Tel 673-1456

★詳しい内容については、各施設の担当者、または社会福祉協議会にお問い合わせください。その他のボランティア活動についてもお気軽にお問い合わせください。

✿ ボランティア保険のご案内 ✿

ボランティア活動保険
◎保障期間は加入日の翌日から年度末日まで
保険料 280円/人
国内におけるボランティア活動中の偶然な事故によるケガや賠償責任に対して補償

行幸用保険
◎行幸当日のみ対象
保険料 28円/人
《最低掛金 560円/20人》
国内におけるボランティア活動や各種市民活動中でのケガや賠償責任に対して補償

◆ボランティア保険の補償期間は4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。事務局にある申込用紙に保険料を添えてお申し込みください。
地域で開催しているサロン活動には行幸用保険をご利用ください。

◆はつらつボランティア紹介◆

「支え合いボランティア上山」

「支え合いは、支え愛」

「支え合いボランティア上山」の小さな試み

「支え合いボランティア上山」は、昨年一月に設立されたばかりで、登録会員が四十五人の地域福祉ボランティアの会です。目標は、行政等と連携し「超高齢化」の上山をより住みやすくすることや、手助けが欲しい時に「気兼ねなく頼み・頼まれる」関係をつくることへの支援です。

普段の活動は、会員有志が孤立しがちな市内の高齢者宅に電話や直接訪問して安否を確認しながら、お話を伺ったり、買い物やゴミ出し、除雪などの手伝いもしています。ご近所の高齢者が誘い合って地域の集会場に集まり、お茶会や交流を図るための居場所づくりを市内三地域で実施中です。高齢者たちの悩みや、つづやきを聴き、問題を一緒に考え、関係機関等に取り次ぐ「架け橋」の役割も果たしています。

支え合いの仕方は一人ひとり違います。万能の公式はありませんので、専門家を招き、「傾聴ボランティア講座」を自主的に三回開講し、聞き上手のスキルアップにも努めています。他に、社協や福祉事務所が主催する各種講座を自主的に受講し、シルバードフレンド、生活支援員、配食サービス、災害ボランティア活動他、様々なボランティア活動に個人的に参加している会員が多いことも本会の特徴です。

隣人への少しの関心と優しい眼差しのある方から「支え合いボランティア」の活動をサポートしていただけるとありがたいです。

◇問い合わせ◇

鈴木まで（六七二―七七八七）



傾聴ボランティア講座

◇市内のNPO活動紹介◇

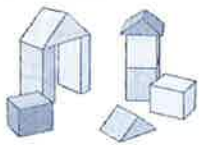
～NPO法人 こども総合研究所～

こども総合研究所とは、学校や園などでうまくお友達と遊べなかったり、集団にうまく適応できないお子さんたちを対象に、小集団や個別で子どもたちを伸ばすための訓練や指導を行っている施設です。

平成17年に設立され、平成21年にNPO法人化しました。各市町村の委託事業や児童デイサービス、子どものことで心配を抱える保護者の方への相談、子ども達への援助などを行うとともに、保護者の方、園や学校の先生など、子どもを取り巻くネットワーク作りへの支援を行ってきました。また、こども総合研究所の中でも、上山市内にあるこども塾という部門には県内から大勢のお子さん達が訓練に通ってきています。人見知りや、友達にやりすぎてしまうなど性格傾向に特徴があるお子さんや、発達障がいといわれるような教室でちょろちょろしたり、人とのコミュニケーションがうまくとれないお子さんがやって来ます。

こども塾では、先生や他のお友達と関わりながら、ルールのあるゲームをしたり、食べ物を作ったり、様々な自分を伸ばすための勉強をしながら、人と協力してやっていく練習をしています。どの子どもも本来持っている『できるようになりたい』という意欲を引き出してあげたり、具体的な社会的なスキル（技術）を教えたり、失敗しながらでもやってみることを経験させていくと、子どもたちは

どんどん元気になっていきます。



◇問い合わせ先◇

NPO法人 こども総合研究所 代表 廣田寛子

所在地 上山市権現堂北の山353-2

電話 676-7775



=調理・配食ボランティア募集= ～市内の高齢者宅にお届けするお弁当を調理・配達してみませんか～

☆活動日 火曜・水曜・木曜日で、2週間に1回程度活動できる方

☆活動時間 午前8時30分から午後12時30分頃まで（調理ボランティア）

午前10時30分から午後12時30分頃まで（配食ボランティア）

☆活動場所 市民福祉活動支援センター“ふれあい”（南町）

☆謝礼 1回につき700円を支払います（調理ボランティア）

1回につき600円を支払います（自家用車提供の配食ボランティアのみ）

活動の様子

☆その他 全員、ボランティア保険に加入します。

☆連絡先 上山市社会福祉協議会 電話：695-5095

